

文部科学省、環境省共催 「Green Blue Education Forumコンクール」開催



「体験の機会の場」研究機構から派生した「Green Blue Education Forum」実行委員会が中心となり、「Green Blue Education Forumコンクール」を開催いたします。本コンクールは、持続可能な社会づくりのために活躍するリーダーを発掘すべく、若い世代を対象に「守り残したい環境・創りたい未来」をテーマとし、優れた提案を表彰するものです。最終審査は、養老孟司氏やC.W.ニコル氏、富永愛氏などを迎え、11月30日(土)に都内で開催いたします。

■ Green Blue Education Forum

Green Blue Education Forumは、石坂産業株式会社代表・石坂典子が委員長を務める「体験の機会の場」研究機構が実施する、「体験の機会の場」の普及・啓発事業の推進部門です。「体験の機会の場」認定団体や、体験型環境教育の理念に共鳴し賛同する企業・団体が構成されています。「体験の機会の場」とは、環境教育等促進法に基づき、環境保全や自然体験に係る活動を行う場を、都道府県知事が認定する制度です。

■ 未来の環境リーダー発掘へ

SDGs(持続可能な開発目標)の視点を踏まえた環境教育や、ESD(持続可能な開発のための教育)の取り組みが求められる昨今、Green Blue Education Forumでは「体験」を通じた活動が重要であると考えています。Green Blue Education Forumは、次の時代を担う若年層が、自発的・主体的に課題を探し、考え、

解決のための方法をまとめ、広く伝えるために学ぶ楽しさや考える楽しさ、伝える楽しさを体験できる機会として、本コンクールを開催します。

本コンクールを通じて、世界を変えていく強い意志を抱き、想像力・思考力・判断力・表現力を身につけて活躍する未来のリーダーを発掘・育成します。

■ コンクールの最優秀チームは 貴重な体験ツアーにご招待！

本コンクールは、文部科学省と環境省が共催し、最優秀賞に選ばれたチームから「文部科学大臣賞」「環境大臣賞」も選出されます。(最優秀賞は、エントリーチームのうち、最終プレゼン大会にノミネートされた各部門の上位チームから選出されます。)

各部門の最優秀チームには、世代別に貴重な体験ツアーをプレゼント。国内の「体験の機会の場」認定フィールドでの学びや、海外の体験フィールドでの1週間程度の体験ツアーも用意しています。若い世代が知見や視野を広げる場と機会を提供します。

■コンクール概要

未来の地球、次の日本をつくる次世代の子どもたちが3人1チームとなり、「未来に守り、残したい自然や環境(緑・土・水)、創りたい未来」について、それぞれの視点や考えを短い動画にまとめ、持続可能な社会づくりに必要な視点を共有します。小学生から大学院生(6～25歳)までの世代別3部門に分かれ、大切にしているモノや思い出の場所など、これからも守っていききたい、新しく生み出していきたいという想いを、数分の動画に込めて応募いただき、審査をします。

● **応募期間** 2019年8月1日(木)～9月30日(月) 21:00まで

● 応募資格&部門

以下の3部門のあてまはるところからエントリーいただけます

A部門:U-25 (大短学生・大学院生・専門学校生等25歳まで)

B部門:U-18 (中学生・高校生等18歳まで)

C部門:U-12 (小学生等12歳まで)

チームは同部門内であれば、学年・年齢を超えてもOK。

兄弟、先輩・後輩等でチームを構成してください

● 応募動画について

A,B,C各部門とも、チームメンバーで作成した【3分15秒以内】の動画ファイルをご用意ください(15秒は自らのチーム紹介としてください)。動画ファイルは、応募要項とともに「Green Blue Education Forum」実行委員会までお送りください。応募方法の詳細は、WEBにてご確認ください。

● 選考審査&審査基準

● 選考審査:2019年10月19日 WEB上で一次審査発表(各部門から上位3チームを発表)

● 審査基準:持続可能な社会づくりに必要な想像力、思考力、判断力、表現力の視点を審査します。

● 最終プレゼンテーション大会

各部門、上位3チームによる最終プレゼンテーション大会を開催し、各部門ごとに最優秀チームを選出します。

2019年11月30日(土) 13:00～17:00

東京都内の会場にて実施します。

● 応募方法

Green Blue Education Forumコンクール

<https://gb-ef.org>



<最終審査員>

(敬称略・順不同)

- ・養老孟司 (解剖学者)
- ・C.W.ニコル (環境保護活動家・探検家)
- ・沖大幹 (国際連合大学上級副学長)
- ・安藤伸樹 (全国健康保険協会理事長)
- ・国谷裕子 (FAO親善大使)
- ・坂野晶 (特定非営利活動法人
ゼロ・ウェイストアカデミー理事長)
- ・インカ・リーサ・ハカラ (駐日フィンランド大使館商務部商務官)
- ・富永愛 (モデル)
- ・文部科学省
- ・環境省

<主催等>

主催: Green Blue Education Forum実行委員会

共催: 文部科学省、環境省

後援: 読売新聞社

<実行委員会>

【委員長】

石坂典子

(「体験の機会の場」研究機構会長／石坂産業株式会社代表)

【副委員長】

武井則夫(一般社団法人企業価値協会代表理事)

【委員】

岡本昌宏(NPO法人なんとかなる代表理事)

【委員】

橋本淳司(アクアスフィア・水教育研究所代表)

【会社概要】

社名: 石坂産業株式会社

事業内容: 産業廃棄物中間処理業

創立: 1967年7月

代表者: 代表取締役社長 石坂典子

本社所在地: 埼玉県入間郡三芳町上富1589-2

従業員数: 約180名(2019年1月)

コーポレートサイト: www.ishizaka-group.co.jp

<本件に関するお問い合わせ>

石坂産業株式会社 広報グループ: 喜多茜音
住所: 〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1589-2
TEL: 049-259-5800 FAX: 049-259-7636
E-mail: pr@ishizaka-group.co.jp